

株式会社光電気工事 環境経営レポート

V e r . 18

2023 年度（2023 年 5 月 1 日～2024 年 4 月 30 日）



発行日：2024 年 8 月 30 日



共生社会へ
エコアクション21
株式会社
光電気工事

本『光電気工事環境活動レポート』は、
エコアクション 21 の実施結果を取りまとめたものである。

2024 年 8 月 30 日
株式会社 光電気工事 代表取締役 望月邦倫

1.環境経営方針	3
基本理念	
基本方針	
2.組織の概要	4
組織概要	
実施体制	
3.環境経営目標とその実績	6
環境目標	
実 績	
主な環境経営計画の内容及び取組結果の評価	
次年度の取組内容	
4.環境関連法規等の取りまとめ	8
5.代表者による全体の評価と見直し・指示	9

1.環境経営方針

基本理念

株式会社光電気工事は、電気設備工事及びそれに付帯する一切の業務を通じ、地域社会への貢献を目指し、全社員で安全かつ人と環境に優しい技術を提供することにより地球環境の保全に配慮した課題とチャンスを踏まえ、よりよい企業経営活動を行います。

基本方針

1 企業責任の遂行

環境経営システムガイドラインの要求事項に適合した環境経営システムを構築・運用し、継続的改善に努めます。

2 環境負荷の削減

事業所及び工事現場において、CO2排出量・水使用量・廃棄物排出量を削減するために、具体的な数値目標を設定し、省エネ・省資源及び廃棄物リサイクル化に向けて積極的に取り組みます。

3 環境関連法規の遵守

常に最新の情報をチェックし取りまとめ、自主的な目標値を定めて管理します。

4 お客様への『省エネ提案』と『省エネ設備施工』

お客様への電気設備提案時には、環境負荷を削減する為の『省エネ提案』を積極的に行います。また、省エネ設備の施工を積極的に行います。

5 情報公開

社会的な説明責任に基づき、真摯な姿勢で環境経営レポートを取りまとめ、公表します。

6 社員教育

社員等への教育・啓蒙活動を通して、よりよい企業活動の向上を図ります。

改訂：2019年5月1日

制定：2007年9月1日

株式会社 光電気工事 代表取締役 望月邦倫

2.組織の概要

事業所及び代表者

株式会社 光電気工事
代表取締役 望月邦倫

所在地

静岡市駿河区中田4丁目4-7
TEL 054-282-1640 FAX 054-283-9022

メールアドレス

hikari-denki@mail.wbs.ne.jp

環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者 佐藤真規子（連絡先：054-282-1640 hikari-denki@mail.wbs.ne.jp）

事業活動の内容

電気設備工事

認証・登録範囲

全事業活動・全組織

事業の規模

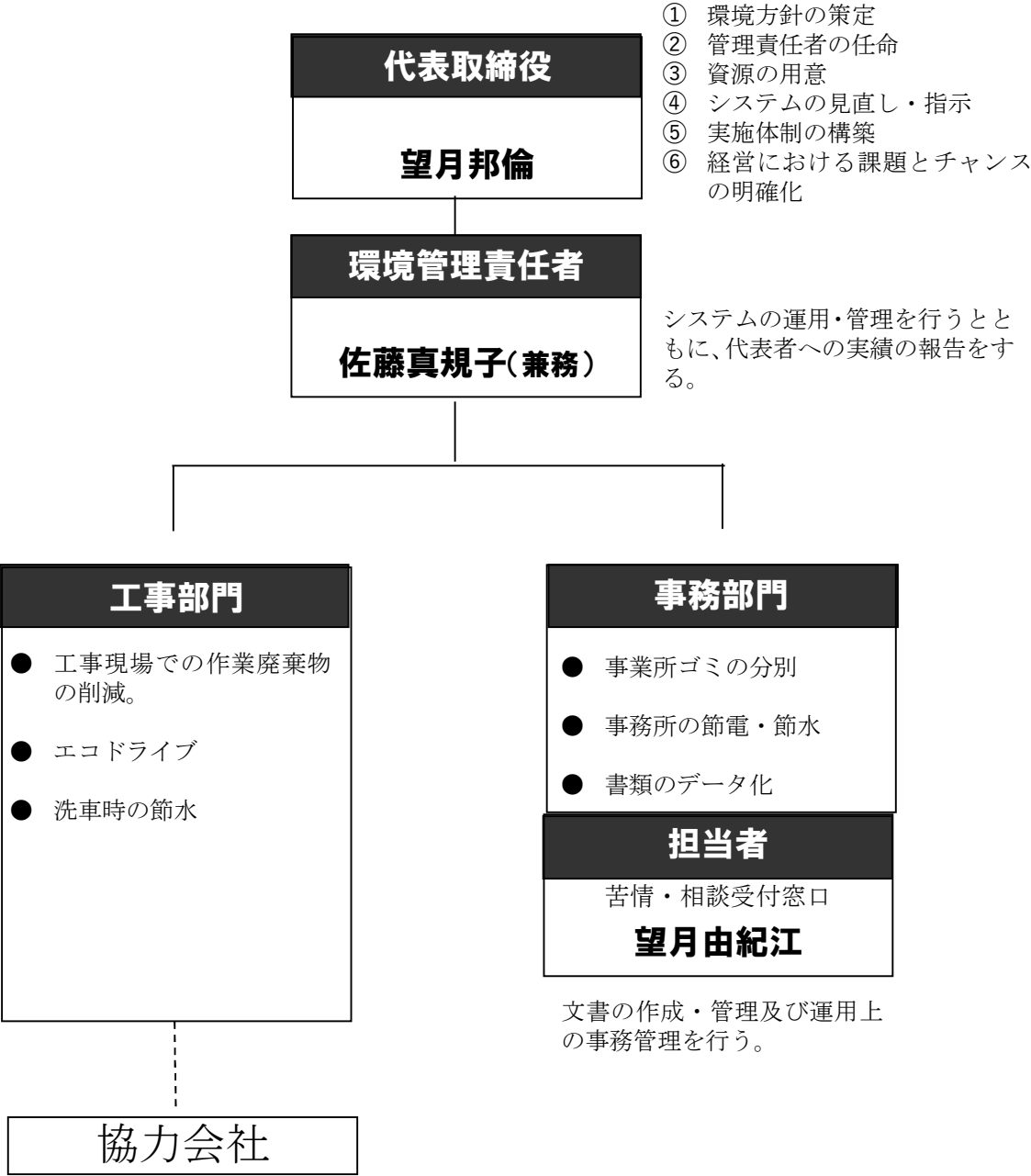
従業員数 8名
資本金 1,500万円
売上 13,683万円/年（2023年度）
工事件数 513件
（2023年5月～2024年4月）
床面積 197㎡（事務所92㎡・倉庫105㎡）。※駐車場は含まない。

許認可

電気工事業 登録静岡県知事 46183号
建設業許可 静岡県知事 一般28 008126号
産業廃棄物収集運搬業許可 静岡市長 06201220809号（但し自社運搬のみ）

設立・沿革

昭和44年5月創業、昭和45年1月有限会社光電気工事として法人組織に変更、
昭和50年6月株式会社になる。



3.環境経営目標とその実績

環境経営目標

項目	単位	基準年	短期目標	中期目標	中期目標	長期目標
年度		2017年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
期間		H29.5～H30.4	R5.5～R6.4	R6.5～R7.4	R7.5～R8.4	R8.5～R9.4
2017年度比		-	-2.0%	-2.0%	-2.5%	-2.5%
CO2	電力使用量	kwh	17,525	17,175	17,175	17,087
	都市ガス使用量	m ³	927	908	908	904
	ガソリン使用量	ℓ	7,437	7,288	7,288	7,251
	軽油使用量	ℓ	821	805	805	800
	総排出量	kg-CO2	28,254	27,689	27,689	27,548
水	水使用量	m ³	318	312	312	310
廃棄物	産業廃棄物排出量	kg	4,238	4,153	4,153	4,132
省エネ設備施工		件	7	9	9	10

※環境目標の基準年として2017年度を採用しており、

二酸化炭素の排出係数は、中部電力H29年度調整後排出係数0.472(kg-CO2/KWH)を使用しています。

実績

年度		2023年度					
期間		2023.5.1～2024.4.30					
工事件数		513件					
2017年度比		-2.0%					
項目		単位	目標	実績	目標に対する増減率	評価	考察
CO2	電力使用量	kwh	17,175	17,966	4.6%	△	照明の消灯、冷房の設定温度を1度下げよう心掛ける。
	都市ガス使用量	m³	908	760	-16.3%	◎	暖冬の影響のため、ガスストーブの使用頻度が少なかった。
	ガソリン使用量	ℓ	7,288	8,421	15.5%	×	民間工事の件数が増え、遠距離の現場も増えたため。
	軽油使用量	ℓ	805	1,296	61%	×	ESCO事業の道路照明灯LED化で使用頻度が多かったため。
	総排出量	kg-CO2	27,689	33,003	19.2%	×	ガソリン・軽油・産廃が増えたため。
水	水使用量	m³	312	299	-4.2%	○	洗車の際には節水を心がけている。
廃棄物	産業廃棄物排出量	kg	4153	4815	15.9%	×	ESCO事業の道路照明灯LED化により撤去品が多く出た。
『省エネ設備施工件数』		件	9	10	11.1%	◎	0円ソーラーを設置する住宅が多かった。

※評価の基準:◎-10%以上、○-9%～-1%、△±0%～+9%、×+10%以上。

※目標値のCO2排出係数は、0.472kg-CO2/KWh(中部電力平成29年度調整後排出係数)を使用。

※増減率(%)=(目標-実績)/目標×100

2023 年度(2023/05/01～2024/04/30)

主な環境経営計画の内容及び取組結果の評価

1. 電力使用量の削減（担当責任者:佐藤真規子）

- 蛍光灯掃除:年末 →評価:◎
- 不要な照明の消灯 →評価:◎
- エアコンの温度設定→評価:△
- エアコン利用について、空気環境もあわせて積極的に話し合っていきたい。



2. 車両用燃料の削減（担当責任者:望月邦倫）

- エコドライブの実施→評価:○
- 定期的に車両整備を行う→評価:◎
- エコドライブ、車内の整理整頓や、安全運転を心掛けるよう、声掛けを実施しました。



3. 水使用量の削減（担当責任者:佐藤真規子）

- 水の節約【洗車時・掃除時】→評価:○
- 給・配水管の点検 →評価:○
- 雨水利用等を検討していきます。



4. 廃棄物排出量の削減（担当責任者:佐藤真規子）

- コピー用紙の両面使用→評価:△
- 廃棄物の分別を実施 →評価:○
- データ電子化を利用し用紙を削減→評価:◎
- 資材の梱包材の削減について関係各社と検討していきます。

5. 省エネ設備の施工件数（担当責任者:佐藤真規子）

- 太陽光発電設備についての施工実績をカウントしました。HEMS や蓄電池等の設備も提案・施工するよう、勉強会への参加に努めます。
- 勉強会への参加 →評価:△



対象期間:2023 年 5 月～2024 年 4 月

(評価の基準:◎=目標以上 ○=現状維持 △=要努力 ×=要見直し)

次年度の環境経営計画

1. 電力使用量の削減 ○蛍光灯・LED灯の掃除：年末 ○不要な照明の消灯 ○エアコンの温度設定
 2. 車両用燃料の削減 ○エコドライブの実施 ○車両整備
 3. 水使用量の削減 ○水の節約【洗車時・掃除時】 ○給・配水管の点検
 4. 廃棄物排出量の削減 ○コピー用紙の両面使用 ○廃棄物の分別を実施 ○データ電子化
 5. 省エネ設備の施工件数 ○提案力強化のため、勉強会へ出席する
- ※2023 年度と同じ

4.環境関連法規等の取りまとめ

環境関連法規等遵守状況チェック表

★チェック日：2023 年 10 月 30 日

確認：佐藤真規子

項目 法規制等	遵守事項	遵守・適用状況
環境基本法	基本理念、環境基準	EA21 の取組 ○
循環型社会形成推進基本法	循環型社会形成の基本原則	EA21 の取組 ○
資源有効利用促進法	3Rの促進の努力義務	EA21 の取組 ○
家電リサイクル法	エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の処分時は指定リサイクル業者へ委託	対象なし
建設リサイクル法	対象建設工事の届出・契約 分別解体業務 再資源化義務・報告	対象工事なし
自動車リサイクル法	車両の購入・売却・廃車時に手続き	対象なし
廃棄物処理法	＜産業廃棄物の適正管理＞ 処理委託契約書の締結・管理・許可証の確認 マニフェスト伝票の管理（A、B2、D、E 票） マニフェスト伝票交付状況の報告（毎年 6 月 30 日迄） 水銀使用製品産業廃棄物の適正な管理と処理 保管場所掲示	○ ○ ○ ○ ○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物管理責任者の選任（届出不要） 委託先業者の現地確認（1 回/年以上）	○ ○
フロン排出抑制法	冷凍空調機器：全ての第一種特定機器が対象 自身での「簡易点検（3 ヶ月に 1 回以上）」実施 記録は機器廃棄後 3 年間保管する。 企業・法人の管理者が確認	○
小型家電リサイクル法	使用済小型電子機器等の再資源化の促進	対象なし

上記のリストに従って遵守状況をチェックした結果、環境関連法規への違反はありませんでした。また、過去 3 年間関係当局及び近隣より、違反・苦情・訴訟等はありませんでした。

5. 代表者による全体の評価と見直し・指示

社 名： 株式会社光電気工事

「環境管理責任者から代表者への報告内容」			責任者氏名	佐藤 真規子
			作成年月日	2024 年 08 月 29 日

見直し 関連情報	項 目		確認（必要に応じ評価・コメントを記載）
	1	E A 2 1 文書	☒
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☒ 順調
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	☒ 10/30 確認済
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ ありません
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	☒
	7	取引先、業界、関連行政機関、その他の外部動向	☒ 道路照明灯の一斉 LED 化工事があった。
	8	その他	☐

「代表者による全体の評価と見直し」の結果			代表者氏名	望月 邦倫
			作成年月日	2024 年 8 月 29 日

代表者による 全体の評価と 見直しの指示	全体評価 (環境経営システムの有効性、環境への取組の適切性等)		工事の件数は年々増加しているが、新築の件数が減少し、リフォームや細かい依頼が増えてきている。今年度は道路照明灯の一斉 LED 化工事があり、売上も経費も増加した。 上記の理由により例年に比べ大幅に CO2 排出量も増えた。	
	見直し項目		変更の 必要性	変更 [有] の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	無	
	2	環境経営目標と計画	無	
	3	環境経営計画と取組み項目	無	
	4	環境に関する組織 (実施体制等)	無	
	5	その他のシステム要素	無	
	6	その他 (外部への対応等)	無	